

2019(令和元)年度 第5次総合計画施策評価シート【年度初め用】

担当部署	総務課	災害対策室	土木課
------	-----	-------	-----

基本目標	3 みんなで“守る”～思いやりのある安全・安心なまちづくり～
施策	12 防災

施策の方向・内容		具体的な事業内容
1	防災・減災対策の充実	(総務課)木造住宅耐震化促進事業(耐震診断、耐震改修)を促進する(目標:改修8棟、段階的改修1棟)。 (災害対策室)地震対策補助金の活用を図り、減災対策を進める。
2	地域防災力の向上	(総務課)災害時土のう保管用倉庫の設置に対し補助を行い、促進する(目標10箇所)。 (災害対策室)地域住民参加型の防災訓練を実施し、住民一人ひとりが災害時に何をすべきかを考え防災力の強化を図る。
3	非常備消防体制の充実	(総務課)消防水利の適正な維持管理を行う。また、消防団活動服の更新を行う。
4	国民保護体制の充実	(災害対策室)J-ALERT(全国瞬時警報システム)の適正な運用及び維持管理に努める。
5	浸水対策の充実	(土木課)青木川、丹羽用排水路、村田排水路の流下能力不足による浸水被害を受け、その対策として愛知県や河川流域市町との連携を図り、青木川をはじめとする河川や水路の改修、雨水貯留施設整備事業に取り組む。また、雨水利用貯留施設設置費補助金、雨水浸透枳設置費補助金を活用し、貯留施設や浸透施設等の設置を促進して雨水流出抑制対策を推進する。
6		

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(R04)	H30年度	R元年度	R02年度	R03年度	R04年度
1 地域防災リーダー養成講座受講者数	地域防災リーダー養成講座のべ受講者数(人)	22	14				
		72	×				
2 木造住宅耐震改修実施棟数	耐震診断を実施した後、「危険」と判断された住宅のうち、改修工事を実施した棟数(棟)	102	109				
		147	×				
3							
4							

前年度の評価を踏まえた今年度の課題
(総務課)木造住宅耐震改修事業については、実施棟数が伸び悩んでおり、啓発方法など検討が必要である。 (災害対策室)全ての施策について、概ね評価のできるレベルで事業が達成されたと思われる。また、地震対策補助金についても、補助対象事業の増加及び令和4年3月までの期間限定であるため積極的な活用について広報していく。 (土木課)青木川改修工事については、事業主体である愛知県と地元住民との連携、調整に努めることができており、今後も円滑に事業が遂行されるよう引き続き愛知県や関係市町と緊密に連携を図っていく必要がある。また、巾下用水付近の湛水軽減を図るために雨水貯留施設の整備を検討する必要がある。

前年度の評価を踏まえた今年度の改善策・方針
(総務課)パネルやチラシなどを活用して啓発を行う。今年度は、総合防災訓練の会場で啓発ブースを設けるなど工夫する。 (災害対策室)総合防災訓練の在り方について、これまでの行政主導型から住民主導型への転換を図り、地域住民を主体とした経験・体験型の訓練に切り替える。 また、地震対策補助金を積極的に活用した減災対策を進め、自助・共助の地域住民力を最大限に発揮させるため、地域防災力の向上に努める。 (土木課)青木川改修工事は扶桑町としても長年の懸案事項であり、浸水被害の課題解消に向け、今後も愛知県と連携を図り、事業の早期完了に向けて調整を進めていく。また、巾下用水付近の湛水軽減を図るために高雄南公園敷地の地下に雨水貯留施設を整備する為の詳細設計を実施する。